

授業科目 発達障害作業療法学

【担当教員名】 永井 洋一		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【概要・一般目標：GIO】 発達障害児に対する作業療法を実施するために必要な治療理論と原理を学び、子どもと家族の生活に密着した治療目標、治療活動を立案するための基礎的能力を身につける。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達障害に対する作業療法の原理と主な治療理論について説明できる。 2. 神経発達学的治療の主な概念が説明できる。 3. 感覚統合療法の主な治療原理が説明できる。 4. 応用行動分析理論の主な考え方が説明できる。 5. 認知発達理論の主な考え方が説明できる。 6. 知的な発達の遅れに対する作業療法の原理と手法について説明できる。 7. 脳性まひ児に対する作業療法の原理と手法について説明できる。 8. 重症心身障害児に対する作業療法の原理と手法について説明できる。 9. 自閉症スペクトラムに対する作業療法の原理と手法について説明できる。 10. 進行性筋萎縮症（PMD）に対する作業療法の原理と手法について説明できる。 11. 発達障害児の療育に関する法律・福祉制度の概要について説明できる。 12. 特別支援教育における作業療法士の役割について説明できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	子どもを対象とした作業療法の原理			1	講義
2	治療理論 1：神経発達学的治療（NDT）、感覚統合療法			2, 3	〃
3	治療理論 2：応用行動分析理論、その他の理論			4, 5	〃
4	知的な発達の遅れと作業療法 1：子どもの理解のための認知発達理論			5, 6	〃
5	知的な発達の遅れと作業療法 2：適応を促す働きかけ			5, 6	〃
6	脳性麻痺のための作業療法 1：姿勢反射の統合・残存の影響と脳性麻痺			2, 7	〃
7	脳性麻痺のための作業療法 2：評価と治療の目的付け所			2, 7	〃
8	脳性麻痺のための作業療法 3：タイプ別の治療目標			2, 7	〃
9	重症心身障害児の作業療法			2, 8	〃
10	感覚統合療法概論 1：基本的な考え方			3	〃
11	感覚統合療法概論 2：治療の展開			3	〃
12	自閉症スペクトラムの作業療法			9	〃
13	筋ジムの作業療法：QOLを維持する作業療法とは？			10	〃
14	療育に関する法律・福祉制度			11	〃
15	特別支援教育と作業療法			12	〃
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		作業治療学 3：発達障害第 3 版	日本作業療法士協会：編	協同医書出版社	2010・3,200 円＋税
参考書		子どもの能力から考える発達障害領域の作業療法アプローチ	小西紀一、小松則登、酒井康年	メジカルビュー社	2012・5,500 円＋税
		発達障害をもつ子どもと成人、家族のための ADL	辛島千恵子	三輪書店	2008・3,360 円＋税
その他の資料		授業時に配布する			
【評価方法】 出席：10%程度 Minute Paper：20%程度 レポート：20%程度 期末試験：50%程度			【履修上の留意点】 人間発達、小児科学、発達障害作業療法評価学の単位を取得していなければならない		